FANBOX
2025年11月更新分

彼女は
ゆっくりと
体をキスし始める

んむっ…♡

この人の体…

温かくて…

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

男の味を
確かめるように
彼女の唇が
肌を滑らせる

提督とは
違う匂い…

軽く唇を
押し当て
首筋から胸元へ
優しく
キスを散らす

ちゅっ

キスをしながら
舌を軽く
這わせる

ぴちゅ…
ちゅぴっ♡

ちゅくっ

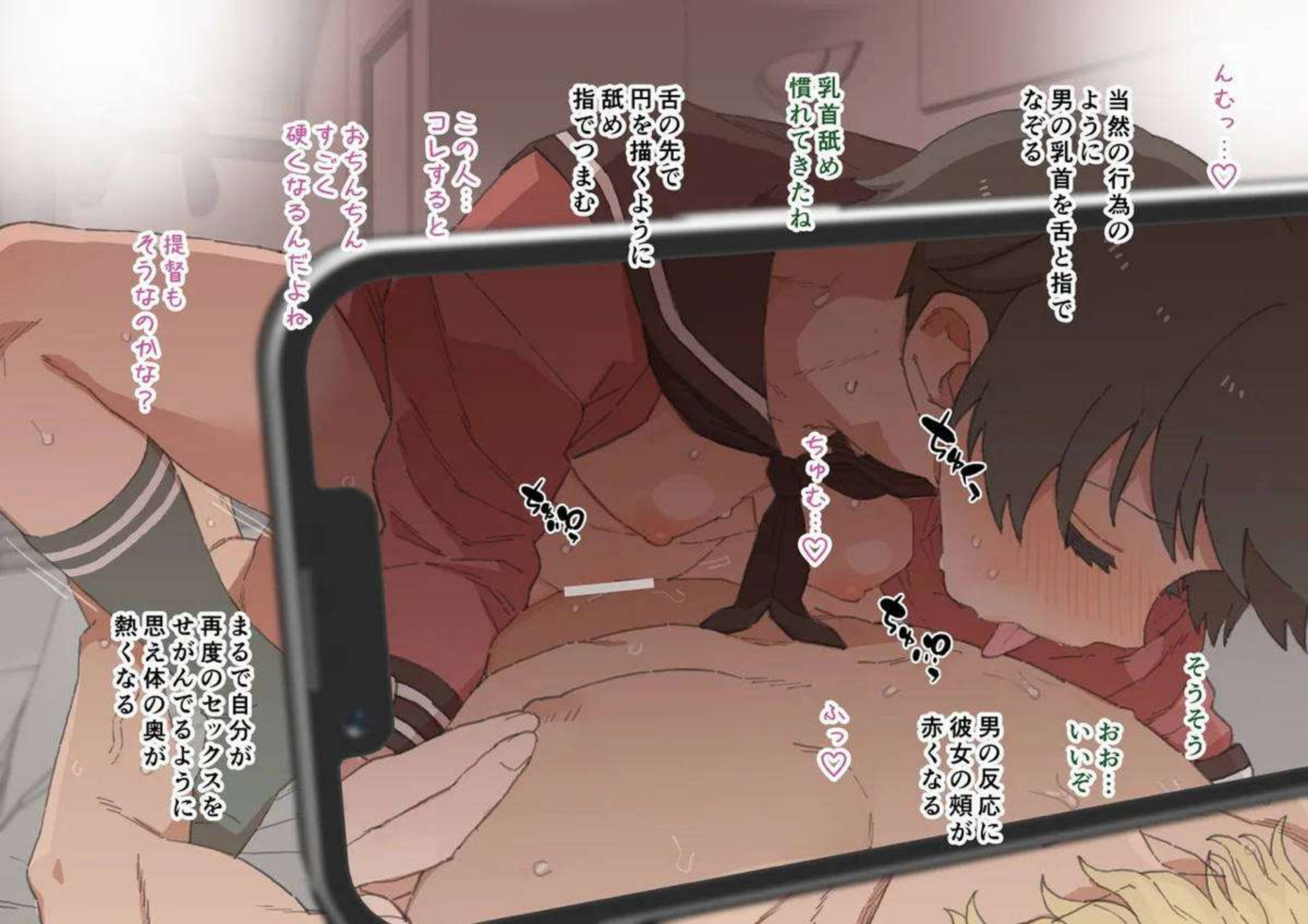
ちゅぷっ

ちゅぷっ

そうそう
全身舐めて
奉仕して

男を
喜ばせようね

まっ
俺の喜ぶポイント
覚えて
彼氏さんが
困惑するだろうけど


んむっ…♡
当然の行為のように男の乳首を舌と指でなぞる
乳首舐め慣れてきたね
舌の先で円を描くように舐め指でつまむ
この人…コレすると
おちんちんすごく硬くなるんだよね
提督もそうなのかな？
ちゅく
ちゅむ…♡
ちゅぱ
ちゅぱ
そうそう
おお…いいぞ
男の反応に彼女の頬が赤くなる
ふっ♡
まるで自分が再度のセックスをせがんでるように思え体の奥が熱くなる

腹部をキスしながら降りていき男の股間に顔を近づける

ちゅむ♡

袋の方も丹念にしゃぶってくれよ

最上ちゃんを孕ませる精子作ってやるからさ

言われるままに竿も陰嚢も口に含み吸いつき唾液で濡らしていく

最上の唇が男の下半身に接吻をし男の優越感を刺激する

ちゅぱっ

んんっ♡

こんなに近くで…この人の匂いが…♡

ん…もう…♡

ここが…いつもボクをいじめるんだ

ボク…このあとコレで…

はぁ…

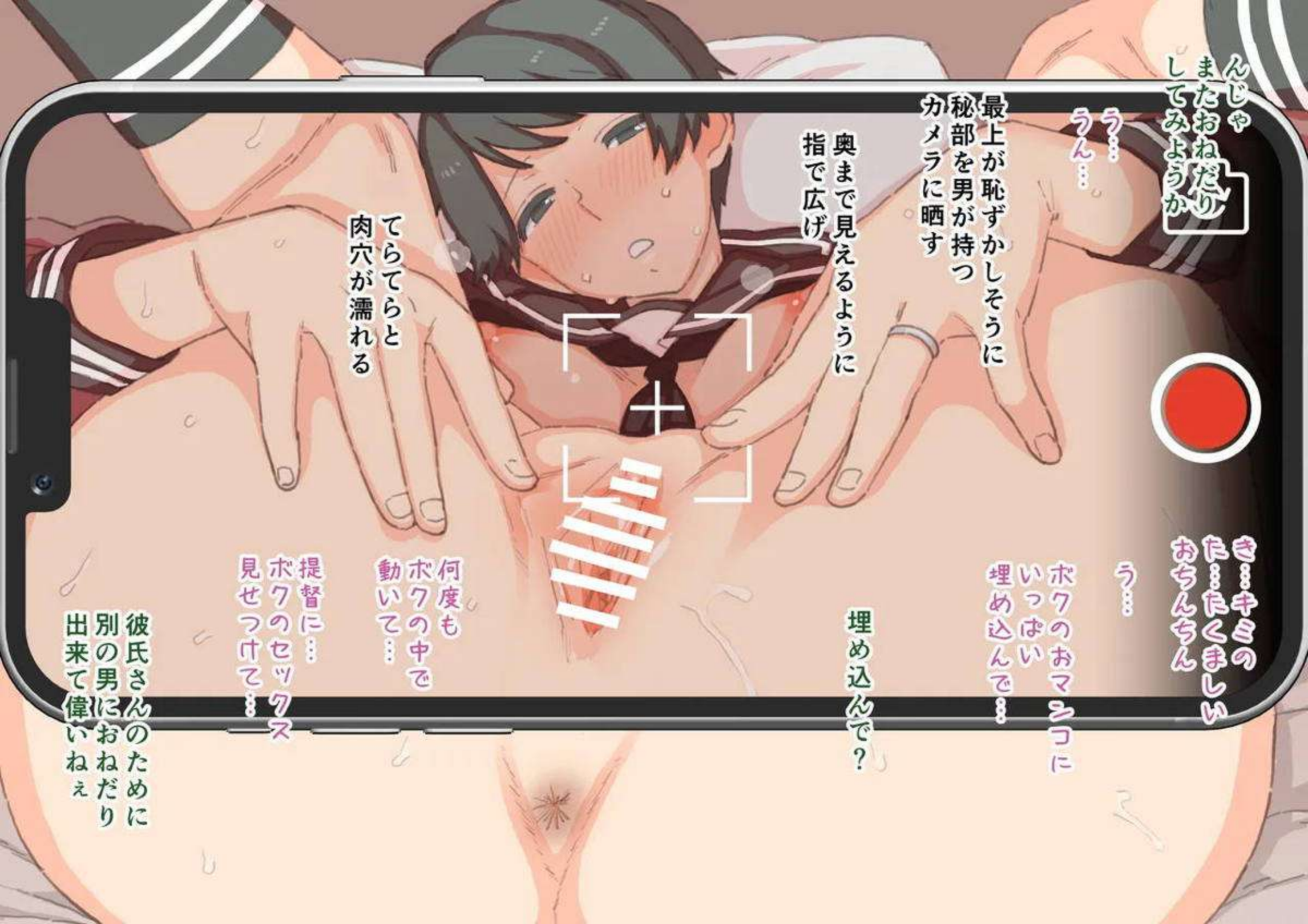
ちゅぱっ

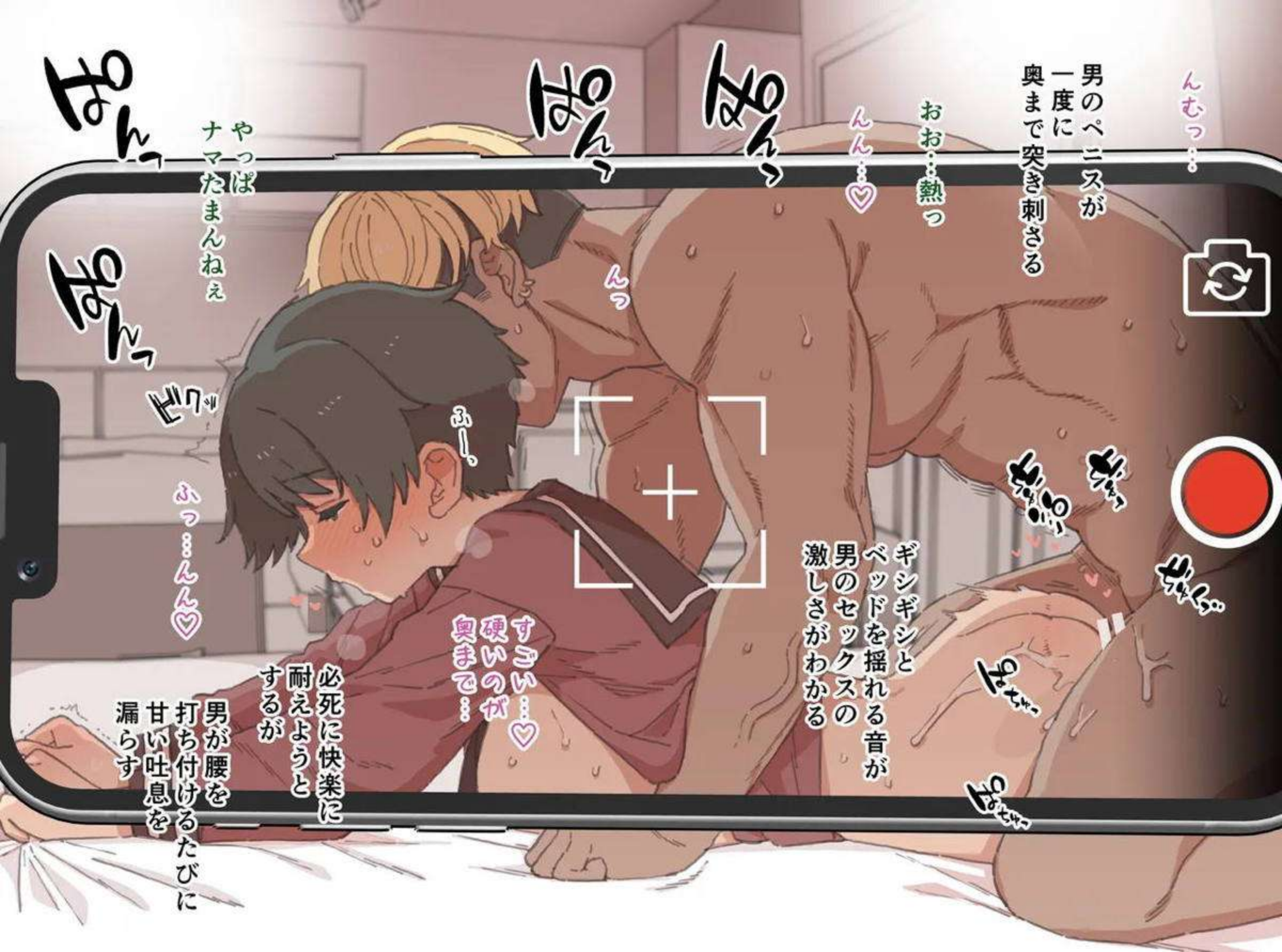
ちゅくっ

ちゅくっ

ちゅくっ

セックスの予感に身体の奥が熱くなる


んじゃ
またおねだり
してみようか
う…
うん…
最上が恥ずかしそうに
秘部を男が持つ
カメラに晒す
奥まで見えるように
指で広げ
てらてらと
肉穴が濡れる
き…キミの
た…たくましい
おちんちん
う…
ボクのおマンコに
いっぱい
埋め込んで…
埋め込んで？
何度も
ボクの中で
動いて…
提督に…
ボクのセックス
見せつけて…
彼氏さんのために
別の男におねだり
出来て偉いねぇ


んむっ…
男のペニスが一度に奥まで突き刺さる
おお…熱っ
んん…♡
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
やっぱナマたまんねぇ
ぱんっ
ぱんっ
んっ
ビクッ
ふー。
ふっ…んん♡
ギシギシとベッドを揺れる音が男のセックスの激しさがわかる
すごい…♡硬いのが奥まで…
必死に快楽に耐えようとするが
男が腰を打ち付けるたびに甘い吐息を漏らす

駄目だなぁ
最上ちゃん

せっかくの
彼氏より気持ちいい
浮気セックスなのに
我慢しちゃ

そ…そんなこと…♡

んー
正直じゃないなぁ

んむっ…♡

男が最上の
顔を手でぐいと
寄せる

最上の顔を
カメラに向ける

顔を紅潮させ
よだれが口から垂れ
蕩けるような
表情が浮かぶ

ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ

エロい声
口から洩れてるよ

ち…ちが…♡

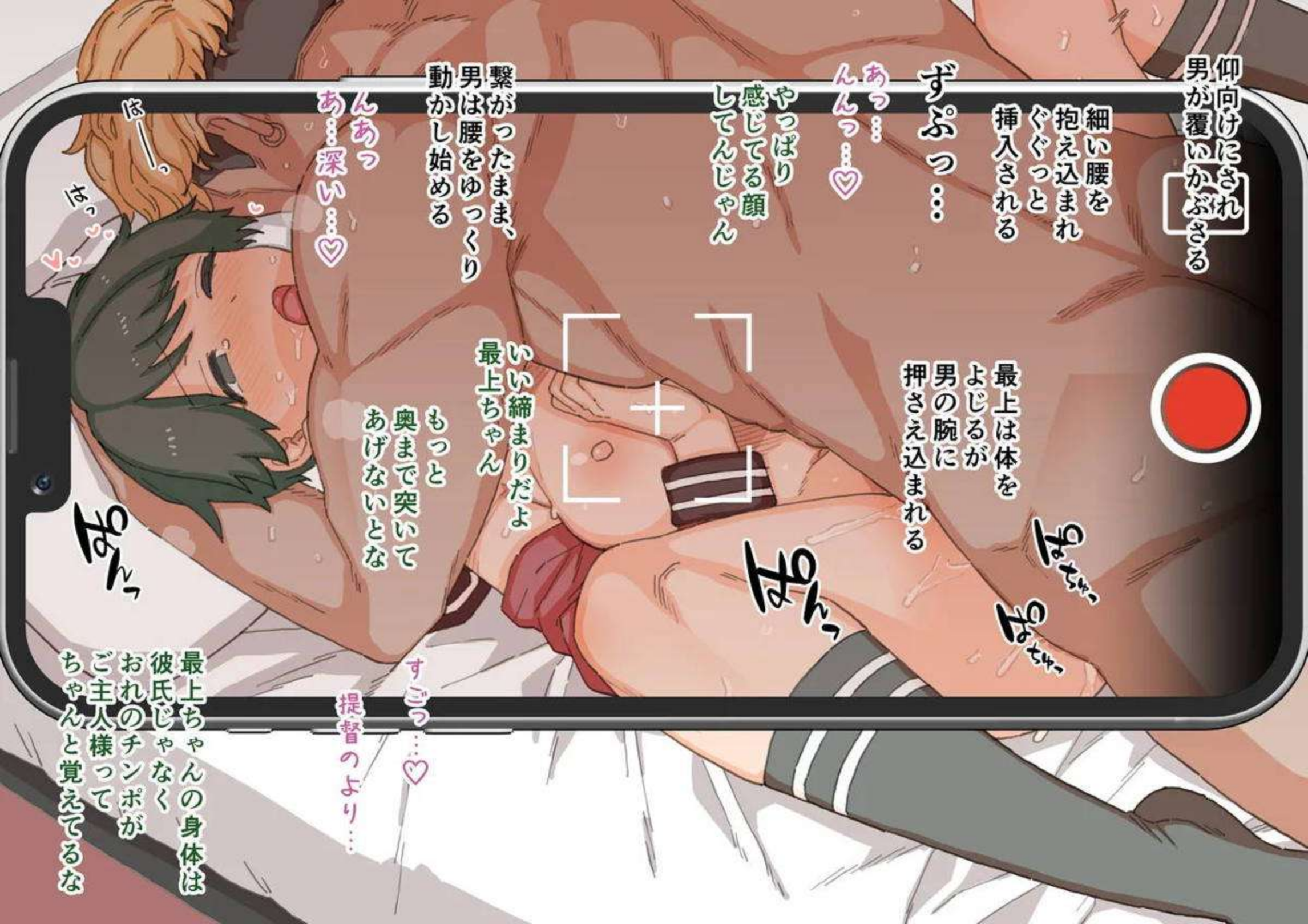
バレバレすぎ

ぱちゃっ

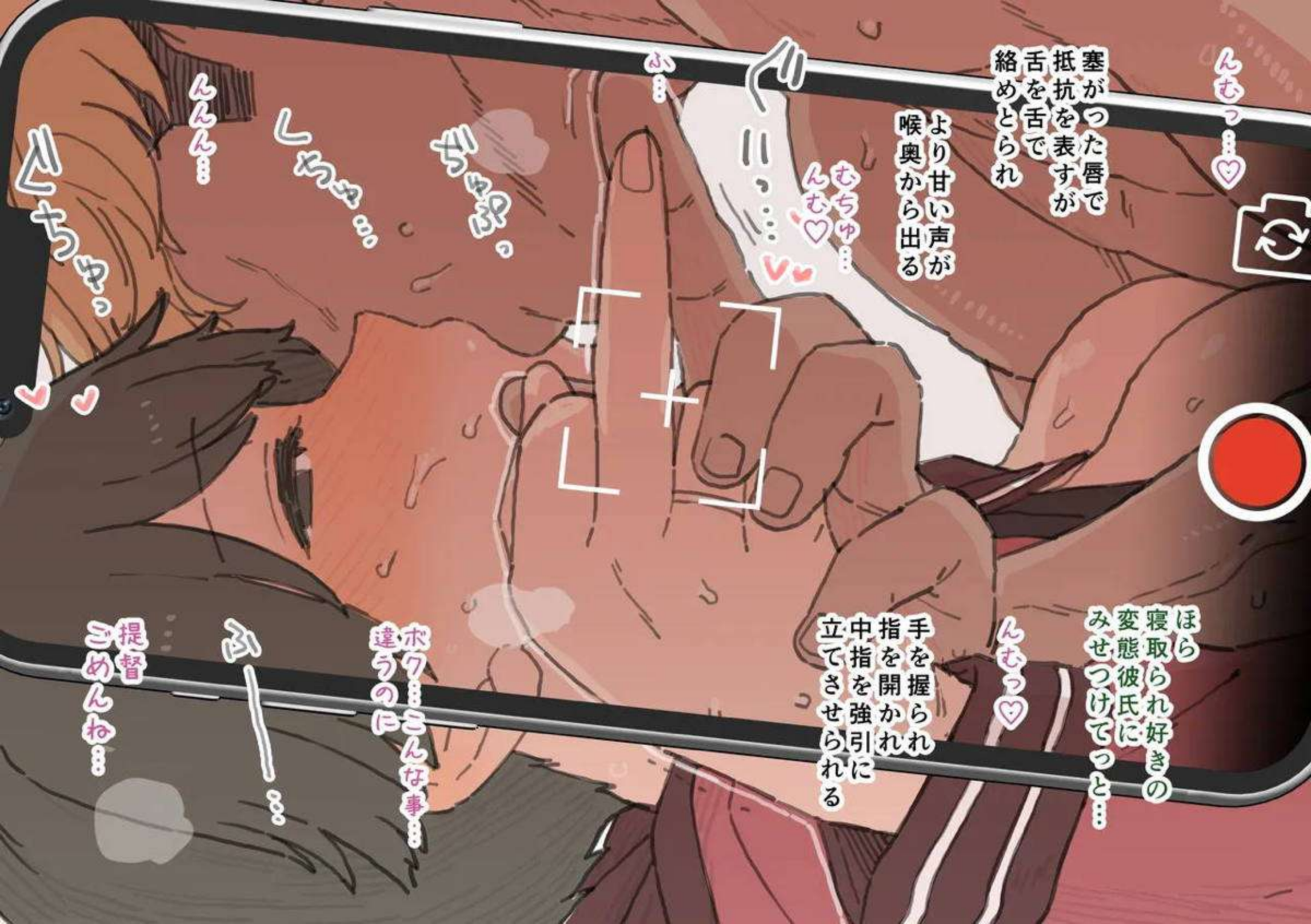
は〜〜っ

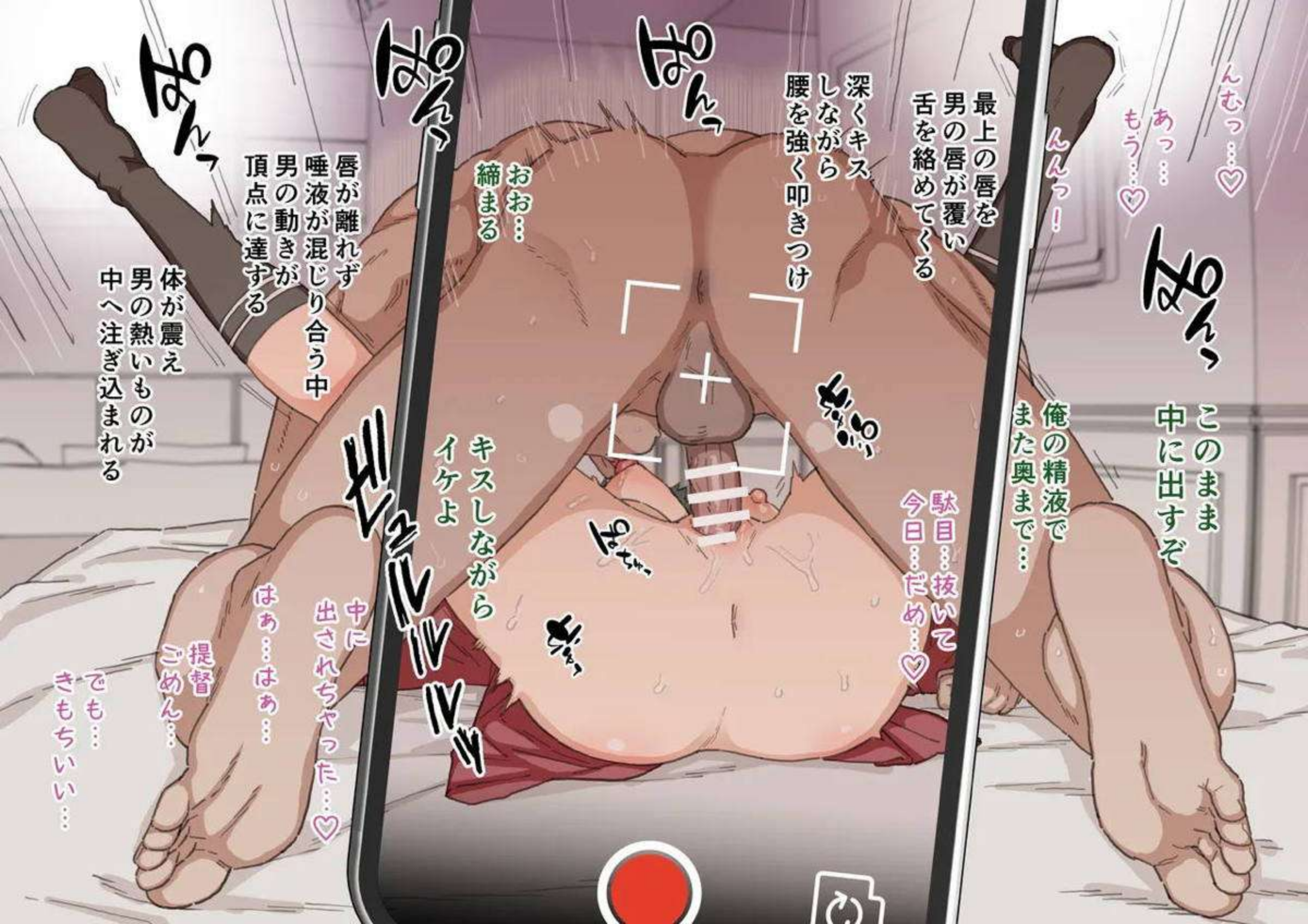
は〜〜

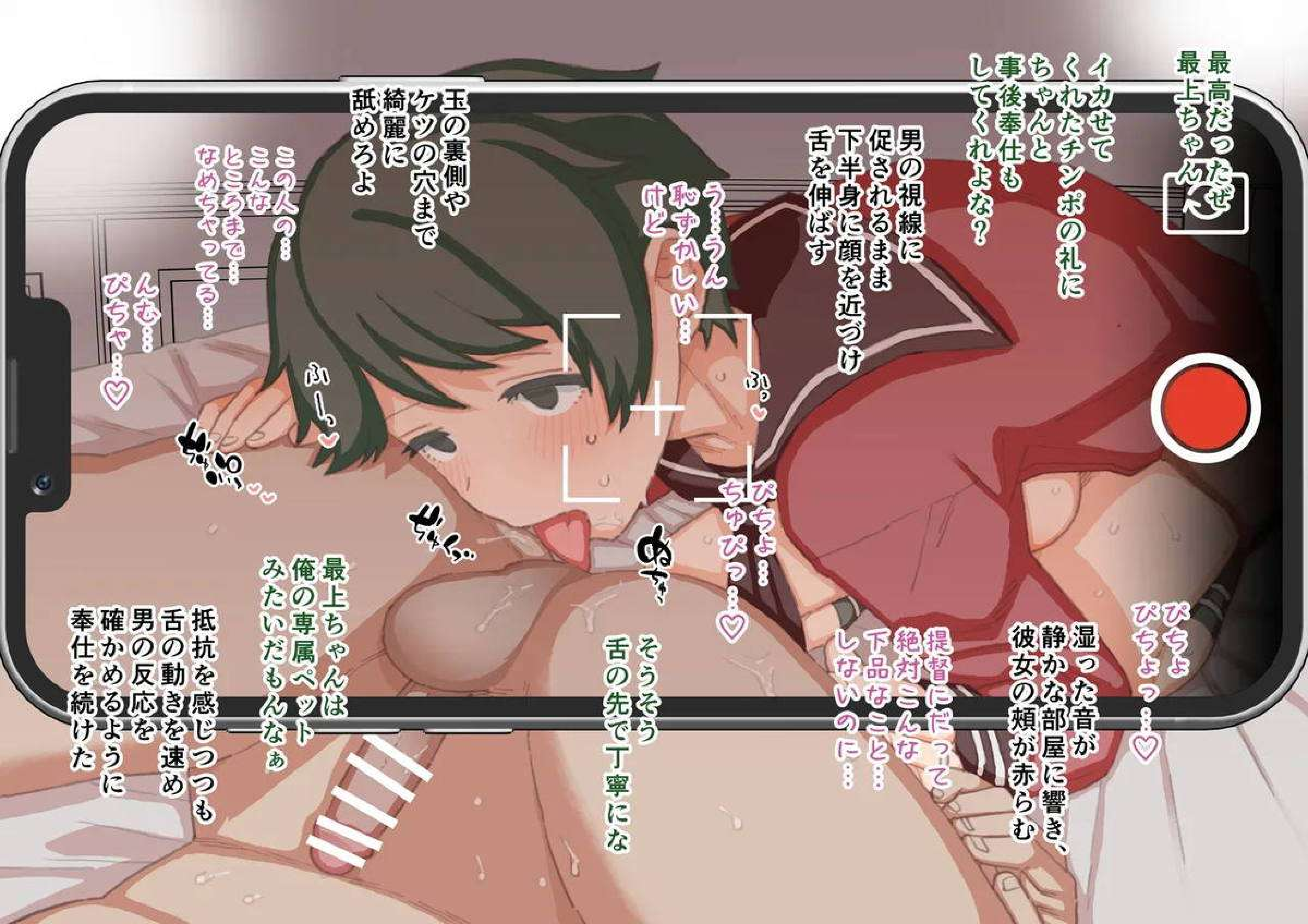
ぢゅぷっ
ぢゅぷっ
ぢゅぷっ
ぢゅぷっ


仰向けにされ
男が覆いかぶさる
細い腰を
抱え込まれ
ぐぐっと
挿入される
ずぷっ…
あっ…
んっ…♡
やっぱり
感じてる顔
してんじゃん
繋がったまま、
男は腰をゆっくり
動かし始める
んあっ
あ…深い…♡
は――っ
はっ♡
最上は体を
よじるが
男の腕に
押さえ込まれる
ぱちゅっ
ぱちゅっ
ぱんっ
ぱんっ
いい締まりだよ
最上ちゃん
もっと
奥まで突いて
あげないとな
すごっ…♡
提督のより…
最上ちゃんの身体は
彼氏じゃなく
おれのチンポが
ご主人様って
ちゃんと覚えてるな

んむっ…♡
ちゅ…れろっ…
んむ…♡
正常位の密着感に少しずつ心が溶けていくのを感じる
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
男の動きが速くなり最上の足が絡みつくように男の腰に巻きつく
きゅう…
俺に抱かれてる自分を想像して興奮してる？
ぱちゅっ
ぱちゅっ
どマゾの最上ちゃん喜んでる？
はぁ…はぁ…
そんなの…ちがう…よ…あんっ♡
最上は声を抑えきれず男の背中に爪を立てる


んむっ…♡
塞がった唇で抵抗を表すが舌を舌で絡めとられ
より甘い声が喉奥から出る
むちゅ…んむ♡
ふ…
くぃっ…♡
ぢゅぷっ
しちゅ…
んんん…
くちゅっ♡
ほら寝取られ好きの変態彼氏にみせつけてっと…
んむっ♡
手を握られ指を開かれ中指を強引に立てさせられる
ボク…こんな事…違うのに
ふ――…
提督ごめんね…


んむっ…♡
あっ…もう…♡
んんっ！
ぱんっ
このまま中に出すぞ
俺の精液でまた奥まで…
駄目…抜いて今日…だめ…♡
ぱんっ
最上の唇を男の唇が覆い舌を絡めてくる
深くキスしながら腰を強く叩きつけ
ぱちゅっ
ぱんっ
おお…締まる
キスしながらイケよ
ぱんっ
唇が離れず唾液が混じり合う中男の動きが頂点に達する
ぶしゅるるるっ
体が震え男の熱いものが中へ注ぎ込まれる
中に出されちゃった…♡
はぁ…はぁ…
提督ごめん…
でも…きもちいい…


最高だったぜ
最上ちゃん
イカせて
くれたチンポの礼に
ちゃんと
事後奉仕も
してくれよな？
男の視線に
促されるまま
下半身に顔を近づけ
舌を伸ばす
う…うん
恥ずかしい…
けど
玉の裏側や
ケツの穴まで
綺麗に
舐めろよ
この人の…
こんな
ところまで…
なめちゃってる…
んむ…
ぴちゃ…♡
ふー…っ♡
ふっ♡
ぴちょ…
ちゅぴっ…♡
ぴちょ
ぴちょっ…♡
湿った音が
静かな部屋に響き、
彼女の頬が赤らむ
提督にだって
絶対こんな
下品なこと…
しないのに…
そうそう
舌の先で丁寧にな
最上ちゃんは
俺の専属ペット
みたいだもんなぁ
抵抗を感じつつも
舌の動きを速め
男の反応を
確かめるように
奉仕を続けた